

# コーパスに基づく日中同形動詞のコロケーション 及びその構文的特徴

——「前進／後退」「前进／后退」を例に——

朱 薇 娜

## 1 はじめに

本稿は、日本語の「前進／後退」<sup>1)</sup>と中国語の“前进／后退”という日中同形動詞を対象とし、コーパス調査を通して移動物を表す共起語や構文的特徴を考察するものである。

「前進／後退」と“前进／后退”は物理的移動を表し得るのみならず、「物事がよい方向／よくない方向へ動く」といった抽象的移動を表すこともできる。「前進」「前进」、「後退」「后退」は日中同形同義語とされているが（文化庁 1978、張淑榮 1987）、その共起する名詞の意味内容や概念領域は必ずしも一致するわけではない。本稿は、「前進」「前进」及びその反義語の「後退」「后退」を例に、同形同義語の一致しない部分のパターンの解明を狙いとする。

本稿の構成は次の通りである。まず第 2 節では、先行研究を整理し、本稿の位置づけを示す。次に第 3 節では、各語の辞書における意味記述と用例を確認する。続く第 4 節では、コーパス調査の手法を説明する。次に第 5 節では、コーパス調査の結果を示し、「前進／後退」と“前进／后退”の移動物を表す共起語及び構文的特徴を考察する。最後に第 6 節で以上の考察から得られた結論を述べる。

## 2 先行研究

日中同形語の先行研究として、同形語のうちの同形異義語の意味の差異を考察したもの（大河内 1992、王承云 1998 等）、同形語の品詞のずれを考察したもの（王燦娟 2013、金丹 2017 等）、同形語のプラス評価・マイナス評価における相違を考察したもの（翟東娜 2000、張潔卉 2017 等）、また実験の手法を用いて母語の音韻情報や語彙情報が第二言語の同形語に与える影響を考察したもの（茅本 2000、熊・玉岡・早川 2017 等）などが挙げられる。

そのうち、日中同形語における意味が類似している動詞に焦点を当て、そのコロケーション情報や構文的特徴を対照するものとして、朱（2000, 2021, 2022）がある。朱（2000）は、共通の形態素である「縮」／“缩”を含む「縮小」と“缩小”「压缩」と“压缩”等の 4 組を研究対象として考察した結果、「中国語の動詞は、和語動詞に対応する部分があることもあり、拡

(1)

張義のバリエーションが豊富でコロケーションのパターンが多いという共通の傾向が見られる」(p. 14)と論じている。朱(2021)は、日本語の「上昇/下降」と中国語の“上升/下降”を考察対象として、「日中同形動詞のコロケーションの不一致は、競合語としての和語動詞の存在によるものにとどまらず、「低下」と「下降」の分業があるように漢語動詞の競合関係にも関わる」(p. 203)という結論を出している。また、朱(2022)は、日中同形動詞の「説明」「说明」「解釈」「解释」を研究対象として、フレーム意味論に基づき、これらのコロケーションや構文における異同を分析している。

本稿では、上述の一連の研究に引き続き、考察対象を日本語の「前進/後退」と中国語の“前进/后退”に広げて、そのコロケーションや構文的特徴を考察したうえで、先行研究の結論の妥当性を検証し、さらに日中同形動詞のコロケーション及び構文的特徴の異同が何に起因するものであるかを探りたい。

### 3 辞書における意味記述と比較

まず、辞書の記述を確認する。「前進」と“前进”を表1に、「後退」と“后退”を表2に示す。

表1、2に示した辞書の意味記述や用例に基づき、共起する名詞とのコロケーション情報を整理する。「前進」の場合、移動物は集団の「部隊」、抽象物の「程度」や「学力」、非明示の人間主体、様々なことの総称としての「物事」が挙げられている。一方、“前进”の場合、移動物は非明示の人間主体、集団の“众人”(「みんな’)“中国”(「中国’)が挙げられている。これによると、「前進」と“前进”は、人間主体の移動を表す点では一致しているものの、抽

表1 辞書における「前進」と“前进”の記述

	辞書	意味記述及び用例
前進	大辞林 (第四版)	①前の方へ出ること。⇔後退・後進。「部隊を前進させる」 ②程度などが進んだ段階になること。「前進の跡が見られる」(p. 1546)
	デジタル 大辞泉	①前へ進むこと。「前進してフライを捕る」⇔後進/後退 ②物事がよいほうへ動くこと。 「学力に前進が見られる」「解決に向かって一歩前進する」
前进	現代汉语词典 (第七版)	向前行动或发展。(p. 1041) (訳: 前へ向かって行動する、または発展する <sup>2)</sup> )
	中国語大辞典 <sup>3)</sup>	前進する。⇔‘后退’ 〈并肩前进〉共に前進する。 〈向目标前进〉目標に向かって前進する。 〈是前进, 还是倒退?〉前進かそれとも後退か。 〈众人又说带带笑地前进了〉皆は話したり、笑ったりして前に進んだ。 〈中国为着它的理想, 要战胜一切阻碍她前进的力量〉中国は、理想のため、前進を妨げるすべての力に勝たなくてはならない。(p. 2414)

表2 辞書における「後退」と“后退”の記述

	辞書	意味記述及び用例
後退	大辞林 (第四版)	①後方へしりぞくこと。⇔前進・進出。「学力が後退する」 ②勢いなどが衰えること。「景気の後退」(p. 929)
	デジタル大辞泉	①後ろへさがること。「車を後退させる」⇔前進。 ②勢いが衰えたり程度が低くなったりすること。 「景気の後退する」「病気が後退する」
后退	現代汉语词典 (第七版)	向后退；退回（后面的地方或以往的发展阶段）。 退后两步   怎么成绩没提高，反而后退了？ (p. 546) (訳：後ろへ退く、(後ろの場所又は以前の発展段階に) 戻る。 「二歩後退する」 「どうして成績は上がるところか、かえって下がったか」)
	中国語大辞典	逆行する。后退する。⇔‘前进’ 〈注意不要后退！〉后退しないよう注意せよ。 〈他挤在人丛中，不能前进，也不能后退〉彼は人込みの中に入り込んで、進むことも退くこともできなかった。(p. 1285)

象物の移動を表す場合には差があることが分かる。

「後退」の場合、人工物の「車」、経済関連の「景気」、様々な病の総称としての「病気」、抽象物の「学力」や「勢い」、「程度」が挙げられている。一方、“后退”の場合、非明示の人間主体、“他”(彼)、数値的なものを表す“成绩”(「成績」)が挙げられている。これによると、「後退」と“后退”は、物理的移動を表す点では一致しているものの、抽象物の移動を表す場合には差があることが分かる。

#### 4 コーパス調査の概要

本稿では、「前進／後退」と“前进／后退”の主体又は対象に当たる名詞<sup>4)</sup>についてコーパスを利用して調査を行い、定量的な分析を行う。

「前進／後退」については、『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ)の全データを中納言を利用して検索した。そこからランダムに抽出した200例に対し、手作業により移動物を表す共起語を抽出した。一方、“前进／后退”については、北京語言大学のBCCコーパスを利用し、ランダムに新聞記事100例、文学100例を抽出し、合計200例を対象に考察した<sup>5)</sup>。

データコーディングの手法は、朱(2021)と同様に、主に次の四つの手順で行った。

- ①意味的な関係に基づき、他動詞句の動詞の直接的に及ぶ対象、自動詞句の変化主体を共起語として抽出した。
- ②文単位で共起語を判断できない場合、文脈を見て共起語を抽出した。
- ③抽出した名詞に対して分類語彙表の名詞の意味体系に基づき、その上位語を決めた。

④例文が表す事象や例文の出典などを根拠に、事象タイプのラベルを設定した。

(朱 2021: 190)

本稿では、「前進／後退」と「前進／后退」が表す事象のタイプに対して、〈有情物・集団の前方移動〉〈有情物・集団の後方移動〉〈もの前方移動〉〈もの後方移動〉〈ひと・集団の成長や発展〉<sup>6)</sup>〈ひと・集団の譲歩・悪化や劣化〉〈物事の発展や進歩〉〈物事の衰退・悪化や劣化・緩和・下落〉といったラベルを設定した。また、構文の特徴を見るため、「～にむけて」や“沿着”（「に沿って」）といった〈方向〉や〈経路〉を表す情報なども併せて抽出した。

## 5 コーパス調査の結果と分析

本節ではコーパス調査の結果を基に、「前進」「前進」、「後退」「后退」の事象タイプの特徴や移動物の特徴、構文の特徴について論じる。

### 5.1 「前進」と「前進」

「前進」が表す事象タイプを図1、「前進」が表す事象タイプを図2に示す。

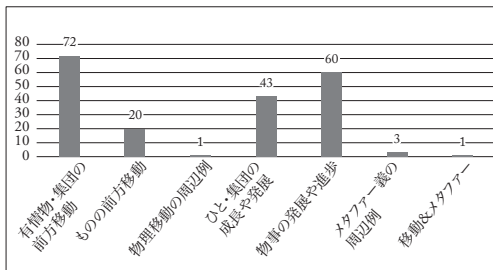


図1 「前進」の事象タイプ

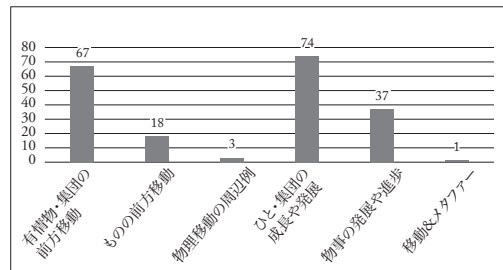


図2 「前進」の事象タイプ

図1、2に示すように、「前進」「前進」が表す事象タイプは、大まかに〈有情物・集団の前方移動〉〈もの前方移動〉〈ひと・集団の成長や発展〉〈物事の発展や進歩〉の四つに分けることができる<sup>7)</sup>。前の二つは物理的移動を表し、後の二つはメタファー的な意味、すなわち抽象的移動を表す。図1と図2を比較すると、「前進」は〈有情物・集団の前方移動〉を表す事象が最も多いのに対し、「前進」は〈ひと・集団の成長や発展〉を表す事象が最も多い。

#### 5.1.1 有情物・集団の前方移動

「前進」は〈有情物・集団の前方移動〉を表す例が最も多く、200例中72例（36%）であった。一方、「前進」の場合、〈有情物・集団の前方移動〉を表す例は、〈ひと・集団の成長や展

展)の次に多く、200例中67例(33.5%)であった。この事象タイプにおける移動物は、「相手」「她」(「彼女」)のような人、「馬」「狼」(「オオカミ」)のような動物、「小隊」「他们」(「彼ら」)のような複数の人からなる集団が挙げられる。

また、次の例(1ab)が示すように、この事象タイプでは「四、五百メートル」のような〈距離〉、「朝～猎物」(「獲物に向かって」)のような〈方向〉、「小心地」(「慎重に」)のような〈様態〉を表す副詞句が現れる。

- (1) a. 「あの銃声は第三中隊だ。それ急げ!」と(小隊は)四、五百メートル前進した頃、後方で猛烈な銃声と手榴弾の爆発音がする。(田中豊『南十字星に向かって』)
- b. 这是一个狼的家庭, 两只狼崽留在后面, 狼爹和狼妈小心地朝地上一大堆猎物继续前进。(严歌苓《陆犯焉识》)
- (訳文: これはオオカミの家族で、2匹のオオカミの子が後ろにいて、オオカミの父とオオカミの母は地面にある山のような獲物に向かって慎重に前進していた。)

### 5.1.2 ものの前方移動

他の三つの事象タイプと比べ、いずれも出現数は少なく、「前進」は200例中20例(10%)、「前进」は200例中18例(9%)であった。また、この事象タイプの移動物は、主に例(2)が示すようにエンジン内蔵の車や船のような人工物であるが、「暖气」や“塔里木河”(「タリム川」)のような流動することにより移動可能な自然物もある<sup>8)</sup>。

- (2) a. 彼はエンジン音が大きくなるのを確かめてから、ギアを替え、ふたたび車を前進させた。(ポール・マイヤーズ著/田中昌太郎訳『死の変奏曲』)
- b. 船却在前进, 磕磕撞撞地前进。(茅盾《锻炼》)
- (訳文: 船は前進しており、よろよろと前進している。)

### 5.1.3 ひと・集団の成長や発展

「前進」は〈ひと・集団の成長や発展〉を表す例が200例中43例(21.5%)で、3位を占めている。「前进」は〈ひと・集団の成長や発展〉を表す例が最も多く、200例中74例(37%)であった。この事象タイプにおける移動物の特徴として、「私」や「自分」「大家」(「みんな」)のように人を個別に捉える場合もあれば、「組織」や「ヨーロッパ社会」「科研组」(「研究チーム」)「民族」(「民族」)のように集団として捉える場合もある。

ここで注目すべきは、次の例(3ab)が示すように、「結婚に向けて」のような抽象的な〈方向〉、「沿着有中国特色的社会主义道路」(「中国の特色を持つ社会主義の道に沿って」)のような抽象的な〈経路〉などが文中に明示されることが一般的だという点である。(3'ab)のように

これらの表現を伴わないと、物理的移動としても解釈され、曖昧な文になる。

- (3) a. まだ正式に認められたわけではないが、一郎・薫は結婚に向けて大きく前進した。  
(鳩山一郎『若き血の清く燃えて』)
- b. 人民在党中央的正确领导下，正沿着有中国特色的社会主义道路阔步前进。  
(人民日报1990年2月4日)  
(訳文：党中央委員会の正しい指導の下で、人民は中国の特色を持つ社会主義の道に沿って一步一步大きく前進している。)
- (3') a. 一郎・薫は前進した。  
b. 人民在前进。

#### 5.1.4 物事の発展や進歩

「前進」は、〈物事の発展や進歩〉を表す例が〈有情物・集団の移動〉の次に多く、200例中60例(30%)であった。「前进」は、〈物事の発展や進歩〉を表す例が3位を占め、200例中37例(18.5%)であった。

この事象タイプにおける移動物の特徴として、「前進」や“前进”の主体又は対象となる名詞は、意志性や有生性を持たず、ひとや集団が働きかける対象になり得るということである。具体的には、「前進」と共起する〈物事〉の異なり語数は60語で、上位3語は、「(領土/環境 etc.) 問題」(6例)、「(行政/税制 etc.) 改革」(4例)、「これ」(3例)となる。残りの語は{行政/取り組み/男女平等/事業/プロジェクト etc.}のような〈社会事象〉を表すものや、{美術/音楽/技術 etc.}のような〈知的活動の産物〉を表すものがある。一方、“前进”と共起する〈物事〉の異なり語数は36語で、上位3語は、“(民族独立的/社会主义建设 etc.) 事业” («民族独立の/社会主义建设 etc.) 事業」(8例)、“(学生德育/设计 etc.) 工作” («学生の道德教育の/設計の etc.) 仕事」(4例)、“历史” («歴史」)(3例)となる。残りの語は{活动/(精神文明)建设/革命/生产 etc.} («活動/(精神文明)建设/革命/生産 etc.」)のような〈社会事象〉を表すものや、{文学/科学/电影/思想 etc.} («文学/科学/映画/思想 etc.」)のような〈知的活動の産物〉を表すものがある。

この事象タイプは二つの特徴を有する。一つは、共起頻度の高い語でもコロケーションとしての定着度はそれほど高くなく、文脈の支えが必要であることが多く、つまり、文脈依存度が高いということである。もう一つは、中国語の“前进”の場合、いくつかの特徴的な構文パターンに用いられ、それぞれの構文において〈社会事象〉や〈知的活動の産物〉の意味特徴を持つ様々な共起語が許容されやすいということである。以下、この二つの特徴について論じる。

まず1点目については、〈社会事象〉の意味特徴を持つ語とよく共起する動詞を日中のそれぞれのコーパスで調査して確認したところ、「推進」や「進める」、「推进」(「推進」)、「促进」



(「促進」)等が上位に来ていた。そこで日中で共通している動詞である「推進」「推进」を取り上げ「前進」「前进」と比較してみる。次の表3の頻度やlogDice係数<sup>9)</sup>に示されるように、「前進」「前进」よりも「推進」「推进」のほうが共起頻度が多く、コロケーションとしてより定着している。

表3 「前進」「推進」「前进」「推进」と〈社会事象〉の共起関係

共起語 (日本語)	前進		推進		共起語 (中国語)	前进		推进	
	頻度	logDice	頻度	logDice		頻度	logDice	頻度	logDice
事業を	1	-0.39	270	7.53	事业	2143	8.11	3538	8.45
改革を	1	1.94	81	7.65	生产	154	2.71	686	4.73
取り組みを	1	3.10	66	7.99	革命	102	3.85	336	5.16
プロジェクトを	1	3.25	21	6.40	活动	46	1.12	467	4.31

さらに、次のような言語事実から、文脈の支えが必要であることが裏付けられる。下記の(4a)と(4b)、(5a)と(5b)の容認度の差に示されるように、「問題が前進する」「问题前进」は、非文ではないが、自然さに欠ける。一方、〈方向〉を表す「解決に向けて」「朝着解决的方向」を文中に付け加えると容認度が上がる。

- (4) a. ?問題が前進する。 (5) a.??问题前进。  
 b. 問題が解決に向けて前進する。 b. 问题朝着解决的方向前进。

また、〈知的活動の産物〉を表す語も同様に、単独では「前進」「前进」と共起しにくいものの、例(6ab)のように文脈の支えがあれば自然な文になる。例文(6a)の「音楽」は「通過してきた時代」等の表現から時代の流れの中を移動するという意味になり、(6b)の“文学”(「文学」)は“前人走到了什么地方, 同辈人走到了什么地方”(「前の世代の人たちがどこまで行ったのか、そして同世代の人たちがどこまで行ったのか」)等の表現からその発展全体が移動事象に喩えられることが分かる。つまり、いずれも文脈の設定により、抽象的移動が成立するのである。

- (6) a. そうした営みを通じて、彼らは通過してきた時代を再び直視し、四十年間を生き抜いてきた自身のアイデンティティを確認しようとしているのではないか。……連中の音楽は決して錆び尽きることなく前進するということである。  
 (山本昭彦『ザ・ローリング・ストーンズ』)  
 b. 文学是在突破中前进, 你要时时注意, 前人走到了什么地方, 同辈人走到了什么地方。  
 (贾平凹《读书示小妹生日书》)

(訳文：文学は突破しながら前進するものである。前の世代の人たちがどこまで行ったのか、そして同世代の人たちがどこまで行ったのかに常に注意を払う必要がある。)

2点目の「中国語の構文パターン」については、〈物事の発展や進歩〉を表す中国語の“前進”は他動詞的な構文によく用いられる。具体的には、次の(7a)のような“把”構文、(7bc)のような“使”(「させる」)や、“{促進/推动/带动 etc.}”(「促進する/推進する/導いて動かす」)のような使役の意味を持つ動詞を用いた兼語文、(7d)のような“{保证/确保}”(「保証する/確保する」)を述語とする他動詞文に使われる場合が多く、合計36例中22例(61%)であった。具体例として、次の(8)のような実例が挙げられる。

(7) a. 把 NP 推向前进

b. 使 NP 前进

c. {促进/推动/带动 etc.} NP 前进

d. {保证/确保 etc.} NP 前进

(8) 这样，才能推动农村的改革和建设沿着正确的方向前进。 (人民日报1986年1月16日)

(訳文：このようにして初めて、農村地域の改革と建設を正しい方向に沿って前進させることができる。)

一方、日本語の「前進」は、「民主化を前進させる」といった使役文が60例中21例(35%)であり、「民主化が前進する」のような自動詞的な構文(65%)と比べ優位に立つわけではない。この調査結果は、日本語は「なる」言語で、自動詞的な構文が好まれるといった先行研究の知見(池上1981、Hinds1986)に一致しているものである。

### 5.1.5 「前進」と“前进”の共通点と相違点

以上の考察に基づき、本節では「前進」と“前进”の共通点と相違点をまとめる。

物理的移動を表す場合、「前進」と“前进”は、類似しており、人や集団、動物の前方移動を表すほか、車や船などのエンジン内蔵の人工物、暖気のような自然物の前方移動も表し得る。なお、“河流”(「川」)のような自然物との共起において「前進」「前进”では差が出ているのは、川が移動物として捉えられるかどうかには日中両言語における認識の差があることに起因している(注8を参照)。また、この場合、移動方向や移動距離、移動様態などを表す表現とよく共起する。

抽象的移動を表す場合、「前進」と“前进”は類似するところもあれば、構文的特徴において一致しないところもある。まず、ひと・集団と共起する場合、両語とも抽象的な〈方向〉、



〈経路〉を表す表現が文中又は文脈に明示されるという構文的特徴を備えており、このような表現を伴わないと、物理的移動としても解釈し得るためである。次に、物事と共に起する場合、文脈依存度が高いものの、両語とも「改革」「プロジェクト」「事業」（「事業」）「生産」（「生産」）のような〈社会事象〉、「美術」「音楽」「文学」（「文学」）「电影」（「映画」）のような〈知的活動の産物〉のような意味特徴を持つ語と共に起す。また、この場合、「前進」は、「把 NP 推向前进」、「{促进/推动/带动 etc.} NP 前进」といった特徴的な他動詞的な構文を持ち、「前进」と「前進」では他動詞的な構文が優位に立つか自動詞的な構文が優位に立つかにおいて対照的である。

## 5.2 「後退」と「后退」

次に「後退」が表す事象タイプを図3、「后退」が表す事象タイプを図4に示す。

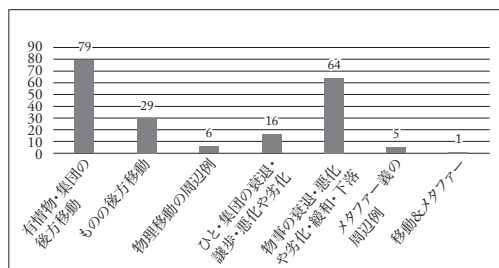


図3 「後退」の事象タイプ

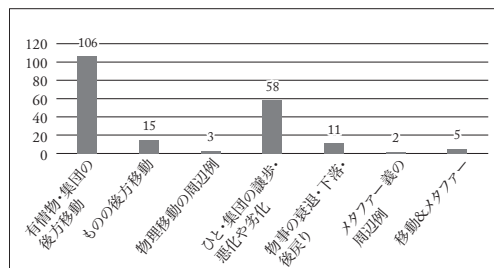


図4 “后退”の事象タイプ

図3、4に示されるように、「後退」「后退」が表す事象タイプは、大まかに〈有情物・集団の後方移動〉〈ものの後方移動〉〈ひと・集団の譲歩等〉〈物事の衰退等〉の四つに分けることができる。前の二つは物理的移動を表すが、後の二つはメタファー的な意味、すなわち抽象的移動を表す。図3と図4を比較すると、いずれも〈有情物・集団の後方移動〉が最も多いが、二位からは両語で異なる様相を呈し、意味の不一致も見られる。

### 5.2.1 有情物・集団の後方移動

「後退」「后退」のいずれも、〈有情物・集団の後方移動〉を表す例が最も多く、200例中それぞれ79例(39.5%)、106例(53%)であった。この事象タイプにおける移動物は、「男」「我」（「私」）のような人、「カブトムシ」「公猪」（「オスのブタ」）のような動物、「二人」「他们」（「彼ら」）のような複数の人からなる集団が挙げられる。

次の例(9)(10)に示すように、「土間(に)」のような〈目的地〉や、「几步」（「数歩」）のような〈距離〉を表す表現がよく現れる。

- (9) 鷹四は僕を嘲弄するような曖昧な微笑を浮かべると、黙って頭を二、三度揺さぶり、そのまま土間に後退して行った。(大江健三郎『万延元年のフットボール』)
- (10) 跑到墙根，我身上已经完全湿了。哪个是公使太太的房？看不清。我后退了几步，等着借闪光看看。(老舍《猫城记》)  
(訳文：垣根に駆けつけたとき、私はずぶ濡れになっていた。公使夫人の部屋がどれなのかは、はっきり見えなかった。稲妻の光の下で見ようとして、私は数歩後退した。)

また、この事象タイプのうち、下記の例(11ab)が示すような戦争を背景とした「撤退する」の意味での使用例を見ると、「後退」は79例中31(39.2%)、「后退」は106例中24例(22.6%)と、特徴的である。

- (11) a. 六月一日には同島駐留のイギリス軍は撤退し、イギリス艦隊はマルタ島まで後退した。(たいらひろし『旭日の艦隊』)
- b. 前线军队节节后退，宋军跟踵前进，杀过界河，常胜军叛变，附郭州县，纷纷易手。(徐兴业《金瓯缺》)  
(訳文：前線の軍隊はどんどん後退し、宋軍は境界の川を渡って攻撃してきた。常勝軍は反乱を起こし、所轄の州・県は、次々と交代した。)

### 5.2.2 ものの後方移動

この事象タイプは、「後退」「后退」いずれの四つの事象タイプにおいても、出現数は三番目であり、200例中それぞれ29例(14.5%)、15例(7.5%)であった。また、ものの性質により〈人工物〉の後方移動を表すもの、〈場所〉の後方移動を表すもの、〈身体関連部位〉の後方移動を表すものという三つの下位分類ができる。

まず〈人工物〉の場合、「後退」は8例、「后退」は4例ある。移動物としての人工物は、次の例(12a)のような車や船などのエンジン内蔵の移動物もあれば、例(12b)のような外力を受けて後方移動するものもある。実例が少ないのは、「(車が)バックする」「倒车」「(車をバックさせる)」といった競合表現の存在によると考えられる。

- (12) a. 車を急停車させた。バックにギアを入れ、勢いよくガソリン・スタンドに後退した。(森詠『戦場特派員』)
- b. 汽车轰轰地怪叫着，连环铁耙被推得卡嗒卡嗒后退。(莫言《红高粱家族》)  
(訳文：トラックはごうごうと奇妙な音を発しながら、ディスクハローをガラガラと押して後退させた。)

次に〈場所〉の場合、「後退」は13例、「后退」は10例ある。移動物は、次の例(13a)が示すような「海岸」や「冰河」(「氷河」)などがある。また、例(13b)のような主観的移動(subjective motion)の例もある(Sweetser 1996、Langacker 1990を参照)。例(13b)では、「码头和小島」(「ふ頭や小さな島」)は実際には移動していないが、移動している船に乗っている人(認知主体)から見ると、「码头和小島」(「ふ頭や小さな島」)が視覚的に自分から離れていくように捉えられるため、「后退」と表現していると考えられる。

- (13) a. これが何かの原因でくずれたのが海岸侵食である。例えば日本有数のリゾートである湘南海岸は年四メートルずつ後退している。  
(石井弓夫『自然災害を知る・防ぐ』)
- b. 灰黒笨重的船体已慢慢离开了码头。……码头和小岛渐渐后退，陆地慢慢在视野中消失。  
(托马斯·曼著 陶然译《迷失威尼斯》)  
(訳文：黒灰色の重たい船はゆっくりとふ頭を離れていた。……ふ頭や小さな島が徐々に後退し、陸地がゆっくりと視野の中から見えなくなった。)

最後に〈身体関連部位〉の場合、「後退」は8例あり、「后退」は“发际后退”(「生え際が後退する」)の1例のみである。「骨盤が後退する」や「拳筋全体が後退する」など、それぞれ1例のみ出現したほか、「{生え際/頭髮/額}が後退する」のような加齢等に伴う髪の毛の減少を表す例が合計4例ある。なお、〈身体関連部位〉の“发际”(「生え際」)も、〈場所〉の「海岸線」も、境界を含意する点で共通している。

### 5.2.3 ひと・集団の衰退・譲歩・悪化や劣化を表す「後退」

抽象的移動を表す「後退」と“后退”は、意味の不一致が顕著であるため、別節に分けて論じる。

この事象タイプは、200例中16例(8%)しかなく、最も少ない。次の例(14a)のような集団の衰退を表す例が9例、例(14b)のような何らかの主張や問題などにおいて譲歩することを表す例が5例、例(14c)のような何らかの側面(e.g. 人種差別、人権問題)において以前より悪化・劣化することを表す例が2例ある。このように文脈に応じて、(14a)では集団の勢いや活力、(14b)では主張や問題に対して、(14c)では何らかの側面における後退を表し、それぞれ焦点化するところが異なる。

また、集団の衰退を表す場合、(14a)の「アッシリアの侵入」のような対抗相手が文中又は文脈に現れるのが一般的で、両者(e.g. 王国 vs. アッシリア)の対抗関係が想定できる。

- (14) a. この王国は前8世紀に一時エジプト王朝をほろぼしたが、その後アッシリアの侵

- 入（前六百六十七年）によって後退した。（木村靖二ほか『詳説 世界史』）
- b. 郵政族としては、郵政三事業民営化問題の本当のヤマ場は首相の私的懇談会が民営化策をまとめる八月だと分析。ここは一步後退しても構わないとの議員心理も働いた。（中日新聞2002年7月2日）
- c. オリンピック開催のちょうど一年前に、国連人種差別撤廃委員会は、西欧の国としては初めて、人種差別に関して後退している国としてオーストラリアを名指した。（ジョン・ピルジャー著 井上礼子ほか訳『世界の新しい支配者たち』）

#### 5.2.4 ひと・集団の譲歩・悪化や劣化を表す“后退”

この事象タイプは、〈有情物・集団の前方移動〉の次に多く、200例中58例（29%）であった。そのうち、悪化や劣化を表す例は4例、残りの54例は全て譲歩を表す例であり、さらに、54例中の48例は、否定形を用いて「譲歩しない／譲歩しなかった」といった意味を表す。

具体的には、次の例(15ab)に示すように、形式上、“她”（「彼女」）、「叙利亞」（「シリア」）のようなひとや集団が主体になり、文末又は節末に否定を表す助動詞“没有”（「なかった」）“不”（「ない」）が現れ、また“在这些疾病面前”（「これらの病気を前にして」）のような抽象的な場所を表す表現、“从阿拉伯民族主义立场”（「アラブ民族主義の立場から」）のような抽象的な起点を表す表現ともよく共起する。意味上、(15a)の“疾病”（「やまい」）のような困難や、(15b)の“以色列的军事威胁”（「イスラエルの軍事的脅威」）のような敵対国などいわゆる〈対抗物〉の存在が前景又は背景にあり、〈ひと・集団が〉〈何らかの対抗物に〉〈引き下がらない・なかった／譲歩しない・なかった／尻込みしない・なかった〉という意味を表す。この場合、“后退”は心理状態を表す“退缩”（「尻込みする」）“畏缩”（「怯む」）にパラフレーズできる。

- (15) a. 她在这些疾病面前没有后退，而是用无所畏惧的精神，用最坚强的毅力，进行各种体育锻炼，战胜一个一个的病魔，成为一个与疾病作斗争的胜利者。

（人民日报1985年4月25日）

（訳文：彼女はこれらの病気を前にして怯まず、恐れを知らない精神と強い忍耐力で、さまざまなりハビリを行い、病気を一つ一つ打ち負かし、病気との戦いで勝利を収めた。）

- b. 叙利亚不会接受以色列的军事威胁，也不会从阿拉伯民族主义立场后退。

（人民日报1983年5月30日）

（訳文：シリアはイスラエルの軍事的脅威を受け入れず、アラブ民族主義の立場から後退しない。）

次にこのような事象タイプを表す“后退”と日本語の対応関係について考える。便宜上、上

記の実例に基づく作例 (16ab)(17ab) を使うことにする。(16b) のように、個人が病気などに直面する場合は「後退」を使いにくいのに対し、(17b) のように、軍事的な対抗関係が想起できる場合は「後退」の容認度が上がる。

- (16) a. 她在这些疾病面前没有后退。  
 b. 彼女はこれらの病気を前にして {尻込みしなかった/?? 後退しなかった}。  
 (17) a. 叙利亚不会从阿拉伯民族主义立场后退。  
 b. シリアはアラブ民族主義の立場から {引き下がらない/後退しない}。

また、本稿の調査に用いた「後退」の200例のうち、上記のような〈ひと・集団が〉〈何らかの対抗物に〉〈引き下がらない・なかった etc.〉という意味を表す事象タイプの例文はなかったが、BCCWJにおける「後退」の全643例中、類似する例が(18)の1件のみあった。

- (18) しかしまた、考えようによってはこんなにやり甲斐のある仕事はないとも思える。先生は生徒に対して一步も後退しない覚悟を持ち、つねに臨戦態勢をとる。生徒は先ずその気魄に押されるだろう。  
 (田中澄江『子供にいい親悪い親』)

例(18)は「臨戦態勢」という表現から、「先生」と「生徒」が対戦し合う双方のような対立関係にあると捉えられる。5.2.1節の調査で分かるように、戦争を背景とする意味用法は「後退」の典型的な意味用法の一つである。例(18)では、「先生」と「生徒」を対戦し合う双方に喩えることを通して、「先生」が「生徒」に対して譲歩・妥協しないということが「後退しない」と表現されているのである。

悪化や劣化を表す4例は、いずれも次の例(19)のように“一步步”(「一步一步と」)のような移動様態を表す表現を伴うこと、又は文全体が移動事象に喩えられることによって、成立するのである。このような文脈の支えがなければ、“后退”よりも“退歩”(「退歩」)はコロケーションとしてより定着している。

- (19) 中国女足从艰苦奋斗, 取得辉煌的战绩, 到一步步在挣扎中后退至今……  
 (人民日报2001年8月29日)  
 (訳文: 中国女子サッカーチームは、必死の努力で輝かしい成績を勝ち取った時代があったが、そこから今日まではもがきながらも一步一步と後退していた。)

### 5.2.5 物事の衰退・悪化や劣化・緩和・下落を表す「後退」

この事象タイプは、〈有情物・集団の後方移動〉の次に多く、200例中64例(32%)であっ

た。また、「後退」と共起する〈物事〉の異なり語数は55語で、上位3語は、「懸念」(4例)「姿勢」(3例)「法案」(3例)となり、いずれも共起頻度が高くなかった。移動物を表す共起語の意味特徴に基づき、大まかに{懸念／顧慮／不安心理／志向 etc.}のような〈心的なもの〉、{影響／効果／機能／景気 etc.}のような〈抽象物〉、{輸出／道路づくり／教育／就職 etc.}のような〈社会事象〉、{比率／水準／株価／議席数 etc.}のような〈数値的なもの〉の四つに下位分類する。次に、この事象タイプの下位分類ごとに移動物としての〈物事〉の意味特徴及び構文的特徴を論じる。

### I 〈物事の衰退〉

このタイプでは、「影響」や「勢力」のような力関係を表す〈抽象物〉が典型的な移動物である。また、次の例(20)が示すように、「これらの寺社の影響」「北条氏の支配」といった対立するもの同士が文中又は文脈に現れるのが一般的である。

- (20) しかし、鎌倉後期に入るところから、これらの寺社の海上交通そのものに対する影響はしだいに後退し、これに代わって、北条氏の支配がはっきりと表に現れてくる。

(網野善彦『日本社会再考』)

### II 〈物事の悪化や劣化〉

このタイプでは、「後退」の主体又は対象を表す移動物には顕著な共通点がないものの、元の状態を表す「～から」、参照物を示す「に比べて」、抽象的な着点を表す「～に」といった表現が文中又は文脈に現れる。例えば、次の例(21)では、「法制審答申の『要綱』」という表現が元の状態を示す。

- (21) 法務省は、代用監獄の点は漸減条項を無視したほか被拘禁者の権利保障規定を削除するなど、法制審答申の「要綱」から大幅に後退した「刑事施設法案」を用意し、両法案合わせて、八十二年四月二十八日、国会に提出してきた。

(川名照美『世紀をこえて』)

### III 〈物事の緩和〉

このタイプでは、次の例(22)が示すように「懸念」や「不安」などの消極的な心理状態を表すものが典型的な移動物である。「後退」が好ましくない事象を表すのが一般的であるが、このタイプは好ましい事象を表し得る点で特徴的である。

- (22) 米連邦準備制度理事会(FRB)のバーナンキ議長の議会証言で米銀国有化懸念が後退



し、銀行株が急伸した。

(Yahoo! ブログ 2008)

#### IV 〈物事の下落〉

このタイプでは、移動物として「株価」や「比率」のような数値的なものが現れる。また、例 (23) が示すように、「選挙前より」のような比較の基準を表す表現が文中又は文脈に現れるのが一般的である。以前の時点における数値と比較して、高かった数値が一旦上がったのち、そこから下がることを「後退する」と表現されている。この場合、「上がる／下がる」「上昇／下落」のような上下のメタファーを用いて数値の増減を表すところに、前方・後方移動を表す表現を用いることが特徴的である。

- (23) 百十三議席と選挙前より大幅に後退した民主党の議席数については、「もっと多いほうがよかった」と答えた人が五十六%で、半数を超えている。

(原美和子『NHK 放送研究と調査』)

以上の四つの下位分類の意味は、いずれも物理的空間における移動という基本的な意味に基づき拡張しているものであり、連続的なものであると考えられる。特に、〈物事の衰退〉と〈物事の悪化や劣化〉の連続性が顕著である。例えば、(24a) の事象は典型的な〈物事の衰退〉として捉えられ、(24b) の事象は〈物事の衰退〉としても捉えられ得るが、文中に「主導的なものから従属的なものに」という状態変化を表す表現があるため、〈物事の悪化や劣化〉として捉えられやすい。このように、空間における後方移動は、物理的後方移動から物事の衰退、そして悪化や劣化など様々な側面を持っているため、構文に応じて焦点化される側面の意味が際立ち、異なる意味解釈になるのである。

- (24) a. 当時の中国では国民党の影響はしだいに後退し、共産党の台頭が顕著になった。  
b. 国民党の影響は、主導的なものから従属的なものに後退した。

#### 5.2.6 物事の衰退・下落・後戻りを表す“后退”

この事象タイプは、200例中11例 (5.5%) しかなく、最も少ない。各共起語は1～2回しか出現せず、“(金牌) 位次” (「(金メダルの) 順位」) “排名” (「ランキング」) のような順位づけを表すものや、“经济发展” (「経済発展」) “景气” (「景気」) のような経済関連のもの、“改革” (「改革」) “革命” (「革命」) のような社会事象が挙げられる。

“景气后退” (「景気が後退する」) “排名后退” (「順位が後退する」) のようなコロケーションは、5.2.5節の「後退」が表す〈物事の衰退〉〈物事の下落〉にそれぞれ対応する。一方、“后退”と共起する“改革”“革命”の3例の実例は、いずれも次の(25ab)のような“不能” (「し

てはならない)又は“不会”(「しない)という話者の強い意志や判断を表すモダリティ表現を伴う。この場合、動作主が言語化されていないものの、“我们绝不能让改革后退”(「我々は絶対改革を後退させてはならない)といった意味合いが背景に潜んでおり、5.2.4節の〈ひと・集団が〉〈何らかの対抗物に〉〈引き下がらない etc.〉という構文につながっている。意味としては、「物事の後戻りをさせない」、「物事の後戻りはしない」に対応する。

- (25) a. 改革只能前进不能后退。 (人民日报1984年7月7日)  
 (訳文：改革は後退させてはならず、前進させなければならない。)  
 b. 阿尔及利亚革命决不会后退。 (人民日报1964年8月4日)  
 (訳文：アルジェリア革命は決して後退しない。)

### 5.2.7 「後退」「后退」の共通点と相違点

以上の考察に基づき、本節では「後退」と「后退」の共通点と相違点をまとめる。

物理的移動を表す場合、「後退」と「后退」は、基本的に類似しており、有情物や集団の後方移動を表すほか、人工物や場所、身体関連部位を含むものの後方移動も表す。また、場所の後方移動では、実際の移動ではなく主観的に捉えられるいわゆる「主観的移動」の例も「後退」「后退」のいずれでも確認できた。なお、〈身体関連部位〉の共起例は、「后退」には実例が少なく、「发际线后移」(「生え際が後退する」)「骨盆后倾」(「骨盤が後退する」)といった競合表現が多く使用され、定着度が高いためであると考えられる。

抽象的移動を表す場合、「後退」と「后退」では意味の不一致が顕著である。まず、「后退」は、否定形を用いて、〈ひと・集団が〉〈何らかの対抗物に〉〈引き下がらない・なかった etc.〉という「後退」には見られない特徴的な構文がある。次に四つの事象タイプごとの出現数を比べると、「後退」は〈物事の衰退・悪化や劣化・緩和・下落〉が二番目に多く(64例)、この「物事」に当たる共起語としては、「懸念」や「不安心理」のような〈心的なもの〉、「影響」や「効果」のような〈抽象物〉、「道路づくり」や「教育」のような〈社会事象〉、「株価」や「議席数」のような〈数値的なもの〉といった様々な語がある。それに対し「后退」は〈物事の衰退・下落・後戻り〉は四番目と最も少ない(11例)。共起語を見ても“排名”(「ランキング」)や“景气”(「景気」)、“改革”(「改革」)といった限られた物事と共起する。また、〈心的なもの〉や、「影響」や「効果」のような〈抽象物〉の場合、「后退」とは共起しにくく、“忧虑缓解”(「懸念が緩和される」)“不安减轻/缓解”(「不安が軽減する」)“影响降低”(「影響が低下する」)“效果下降”(「効果が低下する」)のようなコロケーションが定着している。〈数値的なもの〉においては、「后退」は“成绩”(「成績」)や“排名”(「ランキング」)“位次”(「順位」)のような順位付けに関わるものと共起でき、その順位が下がることを表し得るが、「後退」と共起する「株価」「議席数」のような〈数値的なもの〉は、「后退」と共起せず、“下跌”(「下

落) “減少” (「減少」) のような動詞と共起する。

## 6 まとめ

本稿では、「前進／後退」「前进／后退」のコロケーション及び構文的特徴について、コーパス調査により考察した。その結果を表3、表4に示す。

また、日中同形動詞のコロケーション及び構文的特徴の異同が何に起因するものであるかについては、次の二つの要因が考えられる。一つは、「なる」言語の日本語と「する」言語であ

表3 「前進」と“前进”の比較

物理的移動	有情物・集団の前方移動	共起語 (移動物)	前進	前进
		有情物 (ひとや動物)・集団 日中類似	例: 小隊、馬	例: 他们、狼
		構文的な特徴	前進	前进
		移動方向、移動距離、移動様態と共起する	最も多い事象	二番目の事象
		共起語 (移動物)	前進	前进
	ものの前方移動	人工物 日中類似	例: 車、船	例: 车、船
		自然物 日中一部不一致	例: 暖气 *川が前進する	例: 暖气、塔里木河
		構文的な特徴	前進	前进
			最も少ない事象	最も少ない事象
		共起語 (移動物)	前進	前进
抽象的移動	ひと・集団の成長や発展	共起語 (移動物)	前進	前进
		ひと・集団 日中類似	例: 私、自分、組織	例: 科研组、民族
		構文的特徴	前進	前进
		物理的移動と区別するために、抽象的な〈方向〉や、抽象的な〈経路〉が文中に明示されるのが一般的	三番目の事象 例: 一郎・薫は結婚に向けて大きく前進した	最も多い事象 例: 人民正沿着有中国特色的社会主义道路阔步前进
		共起語 (移動物)	前進	前进
	物事の発展や進歩	社会事象 日中類似	例: 改革、事業	例: 事业、工作
		知的活動の産物 日中類似	例: 美術、音楽	例: 文学、电影
		構文的特徴	前進	前进
		文脈依存度が高い。コロケーションとしての定着度は高くなく、抽象的な移動事象に含まれる構成要素を付け加えると、容認度が上がる (?問題が前進する。vs. 問題が解決に向けて前進する。) また、文全体は移動事象に喩えられていることがある	二番目の事象 自動詞的な構文 (65%) が優位に立つ	三番目の事象 他動詞的な構文 (61%) が優位に立つ 例: 把 NP 推向前进 使 NP 前进 {促进/推动/带动 etc.} NP 前进
		共起語 (移動物)	前進	前进

表4 「後退」と“后退”の比較

物理的移動	有情物・集団の後方移動	共起語（移動物）	後退	后退		
		有情物（ひとや動物）・集団 日中類似	例：男、カブトムシ	例：他们、公猪		
		構文的な特徴	後退	后退		
		移動方向、移動距離、移動様態と共起する 戦争を背景とする例が特徴的	最も多い事象	最も多い事象		
		共起語（移動物）	後退	后退		
		人工物 日中類似	例：車、船	例：船、连环铁耙		
		場所 日中類似	例：海岸、氷河	例：海岸、小島		
	ものの後方移動	身体関連部位 日中ほぼ不一致	例：生え際、頭髪、額、骨盤	例：发际 *{额头／头发／骨盆} 后退		
		構文的な特徴	後退	后退		
		〈場所〉：主観的移動の例が特徴的	三番目の事象	三番目の事象		
		ひと・集団の譲歩等	別義	日中対応関係	後退（最も少ない事象）	后退（二番目の事象）
			衰退	日中非対応 “衰退”に対応する	構文的特徴： 文中又は文脈に対抗相手が存在する。	
			譲歩	“后退”は特徴的な構文を持ち、「後退」より使用の場面が広い	〈ひと・集団が〉 〈何らかの主張や問題において〉〈譲歩する〉を表す	否定形を用いて 〈ひと・集団が〉〈何らかの対抗物に〉〈引き下がらない・なかった等〉を表す 対抗物は“疾病”（「やまい」）、 “军事威胁”（「軍事的脅威」）等様々
			悪化や劣化	日中非対応 文脈の支えがなければ、“后退”よりも“退歩”に対応する	〈ひと・集団が〉 〈何らかの側面において〉 〈劣化・悪化する〉を表す	“一步步”のような移動様態を表す表現を伴う、又は文全体が移動事象に喩えられるといった文脈の支えが必要
抽象的移動	別義	日中対応関係	後退（二番目の事象）	后退（最も多い事象）		
	衰退	日中一部対応 経済関連の語の場合、 日中対応 ほか“（影响）降低” “（势力）衰弱”に対応	共起語の例： 影響、勢力、景気 構文的特徴： 対立するもの同士が文中又は文脈に現れる	共起語の例： 景气、经济		
	悪化や劣化	日中非対応 “退歩”“倒退”に対応	構文的特徴： 元の状態を表す「～から」、 参照物を示す「に比べて」、 抽象的な着点を表す「～に」といった表現が文中又は文脈に現れる			
	緩和	日中非対応 “（忧虑）缓解” “（不安）减轻”に対応	共起語の例： 懸念、不安 好ましい事象を表す			
物事の衰退等						

	下落	日中一部対応 順位付けの場合、 日中対応 ほか“（股价）下跌” “（比例）減少”に対応	共起語の例： 比率、株価、順位 構文的特徴： 比較の基準を表す表現が文中又は文脈に現れる	共起語の例：位次、排名
	後戻り	日中非対応 「後戻り」に対応		共起語の例：改革、革命 構文的特徴： “不能”（「してはならない」）や “不会”（「しない」）という話者の 強い意志や判断を表すモダリティ 表現を伴う

る英語と共通する特徴を持つ中国語による差である。具体的には、“前进”は「前進」と比べ他動詞的な構文（“把 NP 推向前进”等）が優位に立つ。抽象的移動を表す場合、「後退」は物事が主語に立ち、“后退”はひと・集団が主語に立つ。本稿の調査から得られたこれらの結果は、先行研究の知見と一致している。もう一つは、メタファー拡張の差によるものである。「後退」は、集団の衰退（対抗相手の存在がある）、数値的なもの下落、消極的な心理状態の緩和という幅広いメタファー義を持っているのに対し、“后退”は順位づけのもの下落を表し得る以外、それらのメタファー義を持っていない。数値的なもの増減を中国語では“上升”（「上昇」）“下跌”（「下落」）のような上下のメタファー、消極的な心理状態の緩和を中国語では“缓解”（「緩和」）“减轻”（「軽減」）のような表現を用いるのが一般的である。このように、両言語における物事の捉え方の違いが反映されている。

最後に、「後退」は“后退”より拡張義のバリエーションが豊富でコロケーションのパターンが多いという点において、朱（2020）の調査対象と異なる結果となった。今後の課題としては、日中同形動詞の意味対応関係を見る際、調査対象を広げ、日本語と中国語を意味拡張のバリエーションが多いグループと少ないグループに分けて、それぞれのグループに属する動詞はどのような共通する特徴を持っているかについて明らかにしたい。

〔付記〕本稿は令和4年度科学研究費補助金（若手研究 課題番号19K13177）による研究成果の一部である。

## 注

- 1) 厳密に言えば、「前進」「後退」は、動名詞の語幹であり、動詞として用いられる際に、「する」等を伴って動詞化する必要がある。本稿では、日中同形動詞の表記を揃えるため、「前進（する）」「後退（する）」を略して「前進」「後退」と記す。
- 2) 現代汉语词典（第七版）の日本語訳はすべて筆者による。
- 3) 『中国大辞典』には“前进”“后退”の名詞用法についても記載されているが、本稿の考察対象外であるため省略した。
- 4) 本稿では、「目的語」「主語」のかわりに、意味的な基準の「対象」「主体」を用いた理由は、コーパスか

ら採取した用例が使役文や受動文、連体修飾節など様々な文構造を成しており、意味に基づき統語関係を判断することが多いためである。

- 5) BCC コーパスのオンライン検索アプリケーションでは、“多領域”“文学”“报刊”“对话”のように、ジャンルを分けて例文が抽出できるようになっている。そのうち、“多領域”は、新聞、文学、学術誌、ブログの四つのジャンルを含む、いわゆる均衡コーパスであるが、実際200件検索してみたところ、Weibo (ブログ) の個人の口語体の例文が大量にヒットし、バランスよく例文を抽出できなかった。そのため、新聞記事と文学の2つのジャンルで別々に抽出を行った。
- 6) 事象タイプのラベルを設定する際に、物理的移動(前・後方移動)の主体には「有情物」という表現を、抽象的移動(成長や発展)の主体には「ひと」という表現を用いた。これは、前者ではひと以外に動物も想定されやすいのに対して、後者では動物は想定されにくいためである。
- 7) この四語の事象タイプを分ける際に、下位グループが判断しにくい周辺例がある。「後退」の例文を取り上げると、物理移動の周辺例は、例えば、色を視覚で捉えた際の見え方を表している次のアのような、主体化に関わる例である。また、メタファー義の周辺例は、例えば、思考の深まりを移動事象で表す次のイのような、文全体が移動事象に喩えられている例である。グループ分けする際に、いずれも他の例と異質であるため、周辺例という別枠を設定した。

ア 寒色 寒いイメージを与える色である。小さくみえたり、後退しているようにみえたりする。

(岡本敏雄ほか)

イ 考えれば考えるほど、出発点にもどるところか、じわじわ後退しつつあるような気がしてきた。

(クレイグ・ライス著 山本やよい訳)

- 8) 「川」の共起に関して日中同形動詞では不一致が見られる。具体的には、中国語では“河流在前进”(「川が前進している」)は容認できるのに対し、日本語では「\*川が前進する」は容認されにくい。このような差異は、中国語では“河流”(「川」)自体が移動物として捉えられるのに対し、日本語では「川」は場所を表し、川よりも川の中の水が移動物として捉えられやすいことに起因すると考えられる。また、このことは次のような言語事実からも裏付けられている。中国語の(アa)の非適格性が示すように、“河流”(「川」)は、“边”(「辺」)のような場所辞を付けて場所名詞化する必要があるのに対し、日本語では、「川」それ自体が場所名詞的な扱いであるため、(イa)が容認できる。

ア a.\* 去河流(川に行く)

イ a. 川に行く

b. 去河边(川辺に行く)

b. 川辺に行く

- 9) 本稿では、日本語のコロケーションの logDice は、NINJAL-LWP for BCCWJ (NLB) を参照した。中国語のコロケーションの logDice は、BCC コーパスにおける出現頻度や共起頻度に基づき筆者が計算した。日中コーパスの規模が異なり、共起頻度のバイアスを解消するため、logDice 係数を採用した。logDice 係数の算出方法は下記の公式(1)に示す。公式(1)において、f<sub>xy</sub> はコーパスにおける中心語と共起語の共起頻度で、f<sub>x</sub> は中心語の頻度、f<sub>y</sub> は共起語の頻度を表す。logDice 係数の値は、10以下が一般的で、値が高いほど二語の共起の度合いが強いことを意味している。logDice については、Rychlý (2008)、恒川 (2020) を参照した。

$$\text{公式(1)} \quad \logDice = 14 + \log_2 D = 14 + \log_2 \frac{2f_{xy}}{f_x + f_y} \quad (\text{Rychlý 2008: 9})$$

## 参考文献

### 【日本語文献】

- 池上嘉彦 (1981) 『「する」と「なる」の言語学—言語と文化のタイポロジーへの試論—』大修館書店
- 大河内康憲 (1992) 「日本語と中国語の同形語」『日本語と中国語の対照研究論文集(下)』くろしお出版 pp. 179-215
- 王燦娟 (2013) 「品詞と意味における二重誤用されやすい日中同形語に関する研究」『東アジア日本語教育・日本文化研究』第16号 pp. 29-56
- 王承云 (1998) 「同形異義語における中国語と日本語の対照研究—中国語教育の視点から—」『人文科教育研



- 究』第25号 pp. 143-152
- 茅本百合子 (2000) 「日本語を学習する中国語母語話者の漢字の認知—上級者・超上級者の心内辞書における音韻情報処理—」『教育心理学研究』第48号 pp. 315-332
- 金丹 (2017) 「日中同形語における二文字漢語についての一考察」『思言 東京外国語大学記述言語学論集』第13号 pp. 87-94
- 国立国語研究所 (2004) 『分類語彙表 増補改訂版』大日本図書
- 朱薇娜 (2020) 「コーパスに基づく日中同形同義動詞のコロケーションについて—「縮小」「縮小」等を例に—」『日中言語対照研究論集』第22号 pp. 1-15
- 朱薇娜 (2021) 「コーパスに基づく日中同形動詞のコロケーション分析—「上昇/下降」「上升/下降」を例に—」『名古屋大学人文学研究論集』第4号 pp. 187-206
- 朱薇娜 (2022) 「コーパスに基づく日中同形動詞のコロケーション及びその構文的特徴—「説明/解釈」「説明/解釈」を例に—」『愛知工業大学研究報告』第57号 pp. 1-12
- 張潔卉 (2017) 「日中同形異義語の喚情価値の差異について—日本語がプラス、中国語がマイナスのイメージを持つ同形語—」『地球社会総合科学研究』第7号 pp. 81-88
- 恒川元行 (2020) 「logDice 係数はどのような共起指標か」『言語文化論究』第45号 pp. 35-44
- 文化庁 (1978) 『中国語と対応する漢語』大蔵省印刷局
- 熊可欣・玉岡賀津雄・早川杏子 (2017) 「中国人日本語学習者の日中同形同義語の品詞性の習得—語彙知識・文法知識との因果関係—」『第二言語としての日本語習得研究』第20号 pp. 63-79
- 【中国語文献】
- 翟東娜 (2000) 《浅析汉日同形词的褒贬色彩与社会文化因素》《日语学习与研究》2000年第2期 pp. 32-35
- 【英語文献】
- Hinds, John (1986) “Situation vs. Person Focus 日本語らしさと英語らしさ” くろしお出版
- Langacker, R. W. (1990) “Subjectification.” *Cognitive Linguistics* 1(1) pp. 5-38
- Sweetser, E. (1996) “Change in Figures and Change in Grounds: A Note on Change Predicates, Mental Spaces, and Scalar Norms.” *Cognitive Studies* pp. 75-86
- Rychlý, Pavel (2008) “A Lexicographer-Friendly Association Score.” *Proceedings of Recent Advances in Slavonic Natural Language Processing RASLAN 2008* pp. 6-9
- 【辞書】
- 『大辞林』(第四版) 三省堂 2019年
- 『中国語大辞典』角川書店 1994年
- 『中日漢語対比辞典』張淑榮 (1987) ゆまに書房
- 『デジタル大辞泉』小学館
- 《現代汉语词典》(第七版) 商务印书馆 2016年

## 用例出典

BCC: 北京语言大学 BCC 语料库  
 BCCWJ: 現代日本語書き言葉均衡コーパス 中納言版  
 NINJAL-LWP for BCCWJ (NLB): BCCWJ のオンライン検索システム

キーワード：日中同形動詞、コロケーション、前進、後退、構文的特徴

## 摘要

基于语料库的日汉同形动词的搭配及其构式特征  
——以日语的「前進／後退」和汉语的“前进／后退”为例——

朱 薇娜

本文探讨语义相近的日中同形动词与名词搭配上的不同点和构式特征。本文选取「前進」「前进」「後退」「后退」这四个词为研究对象，这四个词的基本义均为表示物理空间上的移动，同时还具有表示事物发展或衰退等的比喻义。通过对语料库中的实例进行定量分析，本文得出以下结论：1. 作为移动动词，四个词均可以表示有生物（人、动物、集团）以及无生物（主要为内置引擎的人工物，还包括河流、海岸线等自然物，发际线等身体相关部位）的移动；在构式上，和表示移动方向、移动距离、移动样态等各类移动的构成要素共现。2. 表示发展衰退等比喻义时，四个词均对构式有一定的要求，在小句中或上下文中经常需要具有抽象含义的〈方向〉〈路径〉等来构造出完整的语义（e.g. ?? 问题前进 vs. 问题朝着解决的方向前进）。3. 在表示比喻义时，“前进”有一类典型的构式（把 NP 推向前进，推动 NP 前进 etc.），在该构式中，NP 可以为各种具有〈社会事件〉语义特征的词。4. 在表示比喻义时，“后退”有一类典型的构式，用否定形来表达〈人·集团〉〈面对某种对抗物〉〈不退缩·没有退缩〉的语义；「後退」具有“后退”没有的比喻义，和表示负面心理的名词如「懸念」搭配时，表示忧虑缓解的语义，带有正面含义。

关键词：日中同形动词，搭配，前进，后退，构式特征